

令和8年6月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 川崎博宣

書記 千葉彬智

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 令和8年6月24日(水) 午後2時27分～午後3時22分

◆場 所 老番館庁舎3階 教育部会議室会議室

◆出席委員

教 育 長	黒 田 賢 一	委 員	松 田 攝 子
委 員	菅 井 信 吉		

◆事務局

教 育 部 長	末 永 量 太	参事兼学校教育課長	岩 渕 克 洋
生涯学習課長	郷 古 勝 浩	教育総務係長	川 崎 博 宣
教育総務課専門主査	千 葉 彬 智	教育総務係主査	鈴 木 未 来

◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録の承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 専決処分報告
 - ① 塩竈市学校保健会補助金交付要綱の廃止について
- 5 議案
 - ① 議案第4号 令和9年度塩竈市立義務教育諸学校使用教科用図書の採択方針について
 - ② 議案第5号 社会教育委員の委員委嘱について
 - ③ 議案第6号 生涯学習センター審議会の委員委嘱について
- 6 その他報告
 - ① 教育長報告
- 7 閉会

1 開会 午後 2時27分

2 前回会議録の承認

教育長より、会議録署名委員が欠席のため、事前に事務局が両委員を訪問し、会議録の承認および署名を頂戴した旨が報告、承認

3 会議録署名委員の指名

松田委員と菅井委員を指名

4 専決処分報告

教育部長から、以下のことについて報告

① 塩竈市学校保健会補助金交付要綱の廃止について

〔主な質疑〕

松田委員 本補助金を廃止し、新たに負担金を支出するとのことだが、該当する負担金は本要綱第2条第3項のみではなく、第1項から第3項すべて、という認識で間違いないか。

末永部長 今回、塩竈市学校保健会補助金の小学校分、中学校分のほか、宮城県学校保健会の運営に対する補助金の計3つが廃止したもの。しかし、新たに負担金を整備した。元々児童生徒単価50円を60円に増額し、本要綱廃止前とほぼ同水準になるように整備した。

5 議案

議案第4号 令和9年度塩竈市立義務教育諸学校使用教科用図書の採択方針については、他地区の審議に影響を及ぼすことのないように、秘密会として審議。

学校教育課長から、以下の議案を説明

- ① 議案第4号 令和9年度塩竈市立義務教育諸学校使用教科用図書の採択方針について
(秘密会の会議録については、別途作成)

生涯学習課長から、以下の議案を説明

- ② 議案第5号 社会教育委員の委員委嘱について
③ 議案第6号 生涯学習センター審議会の委員委嘱について

〔主な質疑〕

教 育 長 委員の定数は何名か。

郷古課長 両委員ともに１０名となる。

教 育 長 必ずしも１０名選定しなくてよいのか。

郷古課長 お見込みのとおり。

採決：全会一致で可決

6 その他報告

教育長から以下のことについて報告

① 本市の教育活動の状況

〔主な質疑〕

菅井委員 児童の引き渡し訓練について、６月１４日総合防災訓練に参加した際に、懸念を感じた。実際に発災した場合、どの段階で迎えに行けばよいのか、もしくは学校側が帰宅を促すのか、家庭内の理解が疎いと感じている。一家庭ずつの整理は厳しいが、地区ごとの整理や、停電時の情報共有方法など、改めて防災を意識する機会であった。

岩渕課長 今年度改めて、発災時の取り扱いを校長会・教頭会で確認しており、津波注意報の場合は、防潮堤により大きな被害は出ないと想定し、授業は継続、児童の引き渡しは行わないとしている。しかしながら、学校区によっては、学校判断で児童の引き渡しを行うなど柔軟に対応したい。

教 育 長 ご指摘のとおり、校長会・教頭会で具体的なルールは明示したものの、家庭ごとへの周知の度合いに温度差があると感じていた。学校ごとに特色があるため、懸念がある場合は引き続き情報共有をお願いしたい。

- 松田委員 市が作成した、または各学校が作成した防災マニュアルがあると思うが、定期的な見直し・追記が必要と感じている。近年の熊被害などが良い事例。学校同士の連携も改めて確認が必要。災害の発生状況にもよるだろうが、基本的な動きを保護者に周知いただきたい。
- 岩渕課長 毎年4月に各小中学校の防災マニュアルを提出してもらい、校長会・教頭会でも見直しについて周知しているところである。現時点で全ての学校が弾道ミサイルに対するマニュアルを整備できていた。熊被害についても教頭会で話題に上がり、各学校の実態に合わせて対応していくことを確認している。
- 教 育 長 常に見直しが必要な課題と認識している。
- 菅井委員 大規模な地震災害が発生した場合の教育部の動きはどうなるのか。
- 末永部長 基本的には、教育部の機能を第一中学校へ移転する方針である。しかし、壱番館の取り扱いについては危機管理課側から異なる考えを提示されており、建物内の垂直避難を推奨されている。福祉こども未来部も垂直避難を検討しているようで、教育部としても状況に応じ判断が必要になると感じている。
- 松田委員 塩竈市子供会育成連合会総会の報告の際に、市内子供会が100団体から20団体程度に減少している旨を確認した。ある自治体の地区では、各々の地区での子供会維持は厳しいため、合体して維持する形をとっている。児童を地域の中で育てるためにも子供会は必要と認識しているため、縦の繋がり・横の繋がりを改めて大事にしたいと感じた。
- 菅井委員 浦戸の事例を紹介すると、浦戸にも子供会が存在したが、卒業後は浦戸に児童がいなくなってしまうため解散した。しかし地域に児童がいらないから子供会の運営ができない、と考えるのではなく、地域で育てる・地域の行事に参加できる・地域の方に顔を覚えてもらえる、という観点での運用も不自

然ではないと思う。児童の家庭環境も様々なので、楽しそうな雰囲気作りから始めつつも、入りやすい環境の整備が必要で、具体的にどのように情報を発信するか、入会時に家庭情報を把握するかなど、様々なハードルがあると認識している。

郷古課長 生涯学習課の窓口には現在も子供会をやめたいという相談が多くある。松田委員がおっしゃるような地区が集まって維持する形など、皆さんからの意見を参考にしながら検討していきたい。

教 育 長 なかなか答えが出ない課題と感じる。ただ、子供会がなくなると、復活させるのが難しくなる。また、町内会のなり手不在の課題と類似している。参考になる先進事例がないか、確認できるとよい。様々な課題が密接に繋がっている。

菅井委員 イベントを開くにも、誰が食べ物、飲み物を準備するのか、公平性をどうするのか、と考えることが多い。地域内の上下の繋がりも関わる。課題が多いが、市長が動いていただいている夏祭り・盆踊りといった地域に根差した行事があるとよいとは感じている。

教 育 長 地域コミュニティをどのようにしていくか、という課題であり、教育委員会だけの問題ではないと認識している。

7 閉会 午後 3時22分

《会議録署名委員》

(松田委員)

(菅井委員)